

みんな元気に「輝いて生きる」。それが私達の願いです。

Information 介護支援スタッフ、  
生活支援スタッフ募集中!

未経験者  
歓迎

詳しくはホームページ、または下記宛お問い合わせ下さい。

✉ saiyou@n-ikuseien.jp ☎ 0595-65-0271 (担当:西浦・川出)



vol.123  
2022.3.1発行

発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会 〒518-0615 名張市美旗中村2326  
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936  
発行責任者:市川知恵子 編集責任者:川出将規 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ)  
編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

## 身の回りにあるもので遊び、学びを生みだそう! お年寄りも子どもも、遊んで学ぶ「おうち時間」

「遊び」を通じて児童発達など子どもの成長に役立てている児童発達支援センターどれみや、「遊び」を取り入れた暮らしの中で頭の体操をしている認知症対応型グループホームひかりから、身の回りにあるもので学びを得る「遊び」をご紹介します。さあ、増えている「おうち時間」で楽しく学びましょう。

子どももお年寄りも、遊びのポイントは「簡単なことからスタートする」という点。最初からルールが決まっているゲームと違い、きっかけさえできればルールや遊び方は自由自在。子ども同士なら豊かな発想力で次々「遊び方」を生みだし、お年寄りを交えたご家族では「会話」も弾みますよ。

### カラ箱の積み木

色々な形の空箱やトイレットペーパーの芯などを使って遊びます。まずは、平たい箱を積み上げるところからスタート。難なく積み終えると、次にトイレットペーパーの芯など丸いものを見つけて、色々な積み方に挑戦します。

大人だったら安全に崩れないよう積むところでも、子どもはおかまいたし。そう、倒れることも楽しみなのです。



折り紙や好きなシールを貼って、デコレーション!

次は隙間を埋めるゲームだよ!



兄弟やお友だちと協力して積んでいこう!



倒れないで〜!

こんな単純なことで?と思うなかれ。空箱では倒れても、ケガせず家具も傷みませんので、どんどんバランスの限界に挑みます。あえてバランスの悪い物を選んでどこまで高く積めるか、大人でも結構アタマを使いますよ!!

ひかりでは、大きめの箱を「倒れないように積む」という簡単なルールを繰り返します。故郷から送られてきた名産品の箱や、好きなお菓子の箱など、お年寄りが親しみを持っている品の箱を用いるのがポイント!

故郷を思い出したり、好きなお菓子から連想できることをお話いただいたりして、コミュニケーションの中から頭の体操をしています。

### 新聞紙を使ったバランス遊び

二人以上が、広げた新聞紙(他の紙でもOK)に乗って、ジャンケンで負けたら半分ずつ折っていく、乗れなくなったら終わりという簡単な遊びです。遊んでみたらわかりますが、狭くなった紙の上でどのようにして乗るかはアイデア次第。もちろん、体感や足腰を使いますので、運動不足の方にピッタリですよ。(裏面に続く)



おっとっと!



ジャンケンに負け続けると、新聞紙がこんなに小さく!

# 名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAIレポートブログ」から  
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAIレポート 検索

## 通所活動支援〈ききょうの家〉

### 秘密組織どんぐり友の会



少し前の事、とある職員が独断で秘密組織を立ち上げました。誰にも内緒の組織は「どんぐり友の会」! この職員は思いました。「どんぐりを植えてえなあ…」

あろうことか、毎年秋に拾ったどんぐりを適当に植木鉢に植えては翌春に芽が出るのを見て、ニヤリとするのが趣味だったこの職員は、その場に居合わせた利用者さんを巻きこんでどんぐりを選んでもらい、一緒になって仕込みを完了!

上手くいけば春にはクヌギの芽が出るはず!そして夏頃こっそりと

法人の敷地内に移植して、十数年後には利用者さんとクワガタとりができるはず。という壮大な野望なのです!ブログに書いたら元も子ありませんが…春にまた報告します~。



▲ブログはコチラ

## ココロノイロ

### バランスゲーム



プログラム活動で『バランスゲーム』をしました。

スポンジブロックの上に小さなボールを乗せて歩いたり、頭にぬいぐるみを乗せて歩いたり、手押し相撲をしました。

「○○さん一緒にやろ~」と誘ってくれた子と職員の本気対決!職員も負けじと押し返します(笑)

結果は、子どもに力強く押されて負けてしまいました☆「やったー!」「負けた、もう一回しよ!」など言いながら勝ち負けを楽しんだり、どうやったらうまくバランスが取れるのか、一緒に考えたりしました。

子ども達の楽しそうな笑顔を見ると「またやりたい」と思わせてくれます☆



▲ブログはコチラ

## 伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター ジョブサポートハオ

### 令和2年障害者雇用状況の集計結果について



三重労働局より1月に発表された「令和2年三重県内の民間企業における障害者実雇用率」によりますと、昨年の三重県における実雇用率は2.28%となり、7年連続で過去最高を更新しました。しかし、私たちハオは、手放しでは喜んでいるわけではありません。

障害者雇用率の向上を、障害者雇用を企業への「達成できるよう頑張りましょう」「達成できて良かったですね」と目的化して終わらせるのではなく、職場でごく

当たり前に、障害者がその力を存分に発揮できる社会作りをしていくことや、働く場以外でも、障害者が社会参加の機会を簡単につかめるようにしていくことに、私たち支援機関は目を向けていかないといけないと感じています。

ハオとして、「働きたい」と願っている方々の思いに寄り添えるよう、今後も頑張っています!



▲ブログはコチラ

## (表面より) 身の回りのもので遊ぶ「学び」

新聞紙を使ったバランス遊びは、みはた虹の丘こども園の園児に遊んでもらいました。最初は3人で遊んでいたのですが、楽しそうな雰囲気に誘われてだんだん参加者が増えてくると『ひとつの新聞紙に二人が乗ってチーム戦で遊ぶ』『落ちそうな子には手を添えてあげる』など、既存のルールにこだわらず自由な発想で遊びの幅を広げていました。



さて、児童のカラダや思考など成長の発達に遊びは重要と、児童発達支援センターどれみでは、「遊び」について保育士や先生たちと学ぶ「あそびの研究会」という勉強会を主宰しています。また、認知症対応型グループホームひかりでは、記憶を呼び起こすことが認知症に有効と、身の回りにあるものや得意なものを取り入れた「遊び」を暮らしに取り入れています。

こうした「遊び」から様々なことが学べるのです。皆様のご家庭でも、身の回りを見回してみましよう。こうした「遊び」のヒントがいっぱい詰まっていますよ!

取材:広報委員会

虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271

